



【重層的支援】慶應義塾大学と「相互連携協定」を締結 ～高齢者への支援充実に向けたモデルケース～

焼津市では、「困りごとマルっとサポート事業（重層的支援体制整備事業）」の一環として、慶應義塾大学との連携協定を締結します。

これは、金融機関との連携を活かし、高齢者の認知機能低下を早期発見・支援に繋げ、自立的な経済活動を見守る地域づくりのための取り組みです。本事業において、慶應義塾大学が自治体と協定を締結するのは全国で初めてで、地域の高齢者の自立支援に向けた新たなモデルケースとなります。

慶應義塾大学が進める「高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる包括的な社会経済システム構築（下枠参照）」に関するプロジェクトについて、本市の「困りごとマルっとサポート事業（重層的支援体制整備事業）」と一緒に取り組んだことをきっかけに、連携協定が締結されることとなりました。

同大学の先進的な研究やノウハウを活用し、金融機関との協働を進めることで、認知機能低下がみられる高齢者を早期に発見し、多様な専門機関と連携しながら支援を迅速に行える体制を構築します。

■連携協定締結式

日時 3月11日（水） 午後3時～3時30分

会場 市役所本庁舎4階 応接室

出席者・慶應義塾大学教授 駒村康平（こまむら こうへい）様
・慶應義塾大学特任講師 尾川宏豪（おがわ ひろひで）様
・焼津市長

協定の主な連携事項

- （1）金融機関に対しモデル事業への参画を促すこと
- （2）金融包摂サービスの開発に関する検討を行うこと
- （3）認知症施策の推進に関すること
- （4）重層的支援体制整備事業の推進に関すること ほか

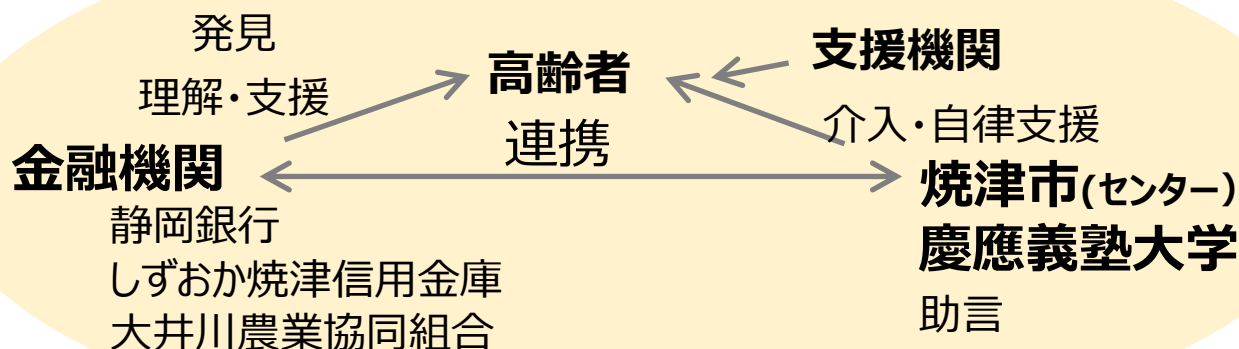
【参考】「高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる 包括的な社会経済システム構築」とは

「金融と福祉が連携した高齢者の経済活動を見守る地域づくり」と、「AIを使った高齢者の資産管理を手助けするツール開発」の社会実装によって、高齢者の認知機能が低下しても自律した経済活動を可能とするための社会経済システムの構築を目指す、内閣府SIP「事業包摂的コミュニティプラットフォーム構築」に採択されたプロジェクトです。

問合先 焼津市健康福祉部 地域福祉課 重層的支援推進室 河口
Tel054-631-5530 FAX054-626-2187

20260227 AM11:00

【図】 困りごとマルっとサポート事業を活用した事業イメージ



【参考】 困りごとマルっとサポート事業とは

国では、「高齢」、「障害」、「こども」、「生活困窮」などの各分野における、複雑化・複合化する支援ニーズに対応する事業として**重層的支援体制整備事業**の実施を推進しており、静岡県は令和7年3月までに事業開始とされています。

特にコロナ禍後は、市民の皆さんの抱える問題が複雑化しており、本市では令和5年11月13日（月）より、名称を市民の皆様に分かりやすく「**困りごとマルっとサポートセンター**」として稼働し、庁内27課及び各種支援機関と連携した体制を構築しています。

本市の実施方法は従来事業よりも、さらに幅広く市民の皆さんの困りごとに対応するために、各種福祉施策の中核機関を統合した、**総合中核機関**を設置し県内初の体制で取り組んでいます。

業務内容

これまで1つの相談機関で対応していた複合課題を持つ事案に対して、複数機関による支援のコーディネート及びプラン作成等を行います。

